



2024年12月10日  
第97号

# JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## イーハトーブ

12月10日号

10月末に熊本県へ旅行に行った際に錦町立人吉海軍航空基地資料館を訪れた。数年前にこの基地の地下に巨大な軍事施設があった事を観光ツアー中に短時間の案内があり知っていた。今年9月、長野県の松代地下壕を研修で訪れた際に同じ地下の遺構として思いだし、しっかりと見て学びたいと思い訪れた。

アメリカ軍からの空襲に耐えるようにトンネルを掘り、地下魚雷調整場、地下兵舎壕、地下作戦室・無線室が作られ、離れた場所には兵器工場も有り、本土決戦時には重要な拠点となる計画だった。しかし、その事はすぐ近くの住民にも秘匿されていた。

この人吉海軍基地は2度の空襲を受けている。1回目の空襲の際に兵士だけでなく基地隣接の集落の住民4人も亡くなった。その事に対して基地の建設を行った兵士の1人が「この場所に基地が無ければ死なずに済んだ。」と後悔したという展示があった。

今回、見学して改めて基地という存在について考えた。時代が変わっても、戦争時に基地が狙われるのは変わらない。それは、岸田内閣が閣議決定で敵基地攻撃能力の保有を決めたことから明らかに。

しかし、攻撃されて被害が基地の設備だけで終わる訳ではない。そこで働く労働者や周囲の住民も巻き込む事になるだろう。そうなってからは遅い。「基地が無ければ」と後悔しないためにも基地問題に真剣に向き合う事が必要なのでは無いだろうか。(T・G)

### イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。